

YOKOHAMA SOEI 2027

JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE



横浜創英中学・高等学校

*Grow today.
Shape the future.*

Autonomy

Self-direction
Metacognition
Self-discipline

Dialogue

Empathy
Public Relations
Collaboration

Creation

Scientific Literacy
Critical Thinking
Information Literacy

YOKOHAMA SOEI
3Competencies and 9Skills

未来を切り拓く力は、 自ら育てていくものだ。

変化は、もう特別な出来事ではない。

デジタルの加速、環境問題、

国際社会での新たな立ち位置 ―。

社会は複雑さを増し、

「正解が一つではない課題」が日常になった。

昨日の当たり前が、明日には通用しない。

だから横浜創英は、変化を恐れるのではなく、

変化を力に変える学びへ踏み出す。

今、必要なのは「知っている」ことの先にある力だ。

問いを立てる。選ぶ。動く。失敗から学ぶ。もう一度試す。

自分で考え、自分で決め、自分の言葉で説明できること。

そして、仲間と意見を交わし、

違いを力に変えながら、答えを“つくる”こと。

未来を切り拓く力は、

誰かに与えられるものではなく、

自ら育てていくものだ。

それなら、横浜創英から始めよう。

学びは、受け取るものではない。

目標を定め、方法を選び、実践し、振り返り、

次の一步を自分で決めていくものだ。

私たちは、生徒に知識を一方的に渡すのではなく、

「学びたい」という意志に火を灯し、

その意志が続く環境を整える。

学びをデザインする力を育て、

学びを自分のものにしていく。

教室の中だけが学びの舞台ではない。

クラスやコース、学年、そして学校という枠を超え、

学びの場は外へ広がる。

社会とつながり、本物の課題に触れ、挑戦を重ねる。

迷いも、失敗も、立ち止まる時間も、

すべてが次の成長につながっていく。

私たち教職員は、その一つひとつに伴走し、

挑戦が経験へ、経験が自信へ変わるまで支え続ける。

あらゆる問題の解決の鍵が教育にあるのなら、

私たちが変えていく。

学校に行くのは何のためか。

人はなぜ学ぶのか。

あなたはどんな社会を創りたい？

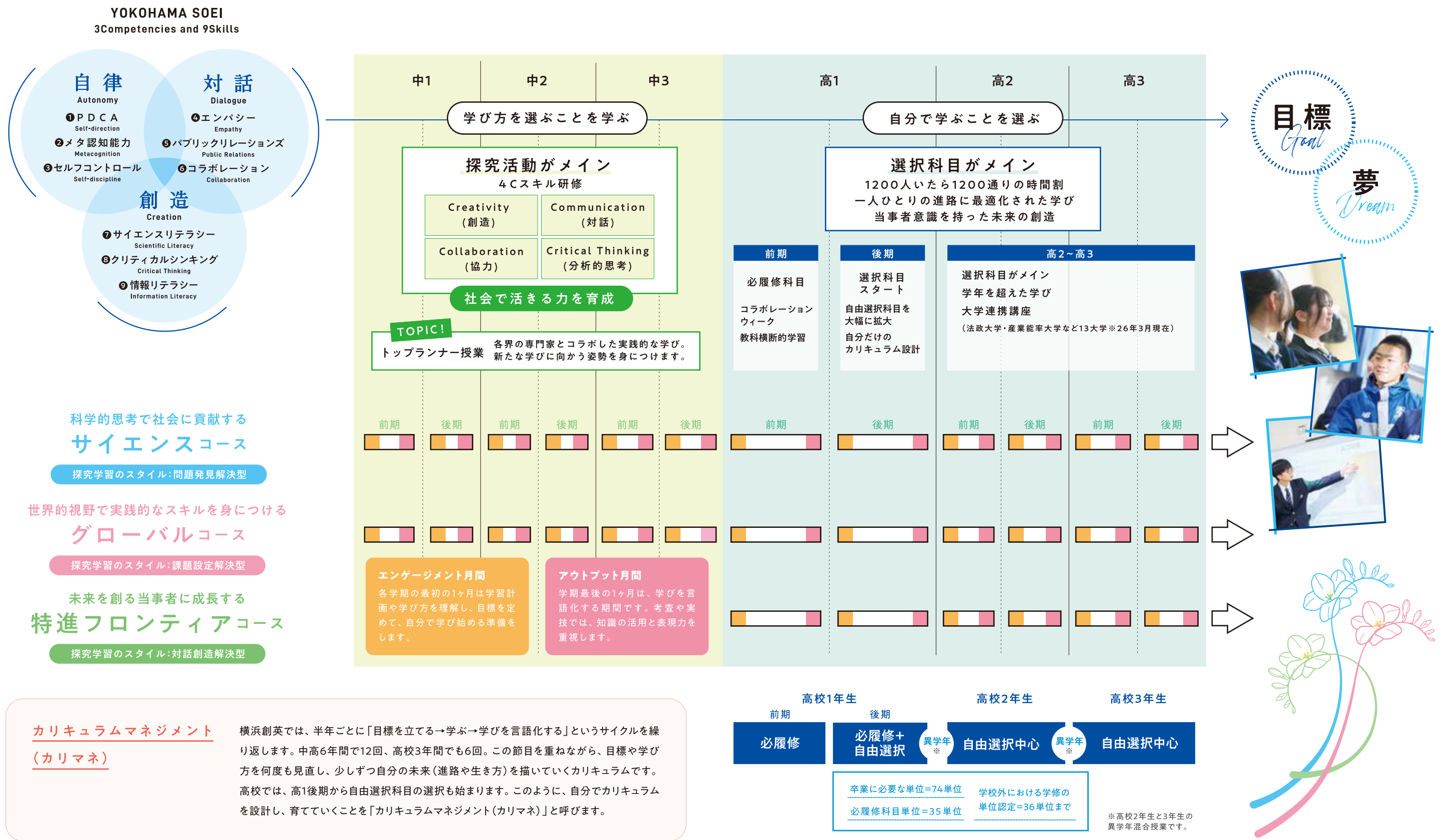
そしてあなたは何を学びたい？

INDEX

- 03 「考えて行動のできる人」の育成を目指す、
横浜創英の6年間
- 05 横浜創英がはじめたこと #01
主体的に学ぶ授業
- 07 横浜創英がはじめたこと #02
生徒の自律的な学校生活を支援する
- 09 横浜創英がはじめたこと #03
自分で決めるカリキュラム
- 11 横浜創英がはじめたこと #04
社会とつながる高大連携
- 13 横浜創英の探究活動
- 15 外部との連携
- 17 コンピテンシーベースの研修
- 19 企画型研修旅行・選択型旅行
- 21 生徒がつくる学校行事
- 23 生徒が主役の部活動
- 24 生徒が決める生徒会・委員会活動
- 25 日々の小さな選択が、積み上がり
未来の自分につながっていく

「考えて行動のできる人」の育成を目指す、 横浜創英の6年間

横浜創英には中高一貫のサイエンスコース・グローバルコースと、高校入学生向けの特進フロンティアコースがあります。
それぞれのコースの特徴は、答えのない「問い」に対する探究学習の方法にあります。
どのコースも目指す姿は「より良い社会を創っていく当事者になる」こと。
この当事者意識を育てるために、3つのコンピテンシーと、それに紐づく9つのスキルを設定し、
社会生活で生き抜くことができる力を身につけます。
スクールフラワーのフリージアのように生徒一人ひとりの可能性を開花させるカリキュラムです。



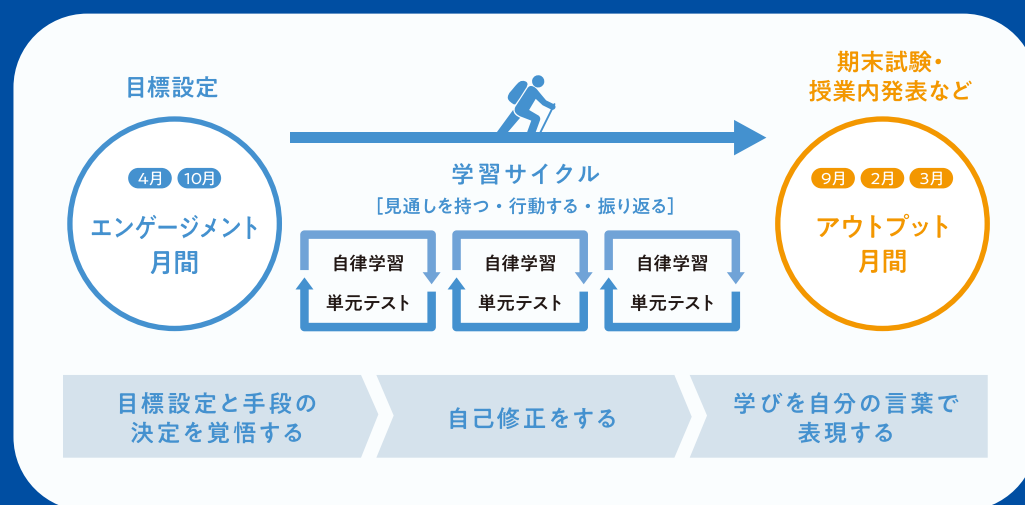
横浜創英では、半年ごとに「目標を立てる→学ぶ→学びを言語化する」というサイクルを繰り返します。中高6年間で12回、高校3年間で6回。この節目を重ねながら、目標や学び方を何度も見直し、少しずつ自分の未来(進路や生き方)を描いていくカリキュラムです。高校では、高1後期から自由選択科目の選択も始まります。このように、自分でカリキュラムを設計し、育てていくことを「カリキュラムマネジメント(カリマネ)」と呼びます。

01

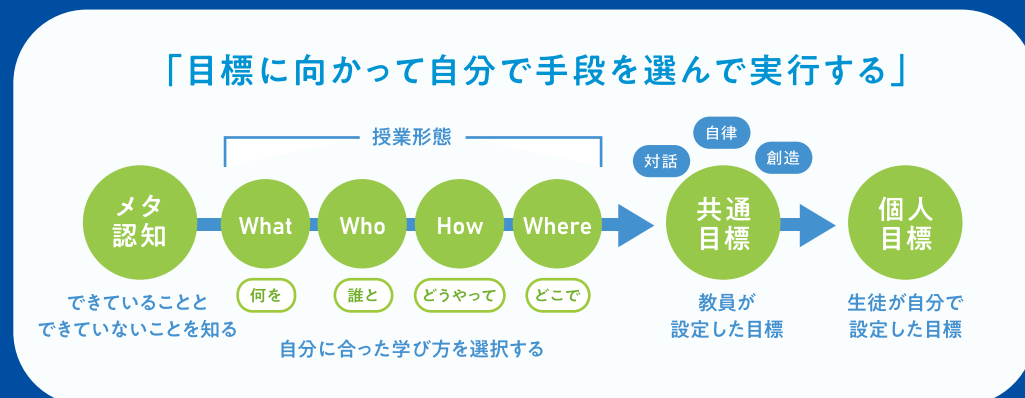
主体的に学ぶ授業

横浜創英が大切にしているのは「自ら学ぶ力」。
日々の授業でも目標を立て、自分にあった学び方を選びます。
学習サイクルを回し、成果を言葉で表現する。
日々の授業を主体的に学ぶスタイルへと仕組みを整えました。

主体的な学びを促す仕組み



横浜創英が考える自律学習



横浜創英の選択型自律学習（例）英語・中1～中3合同

中学の英語授業では週2回、クラス・学年を超えて生徒たちが「学び方」を選ぶ授業を行っています。



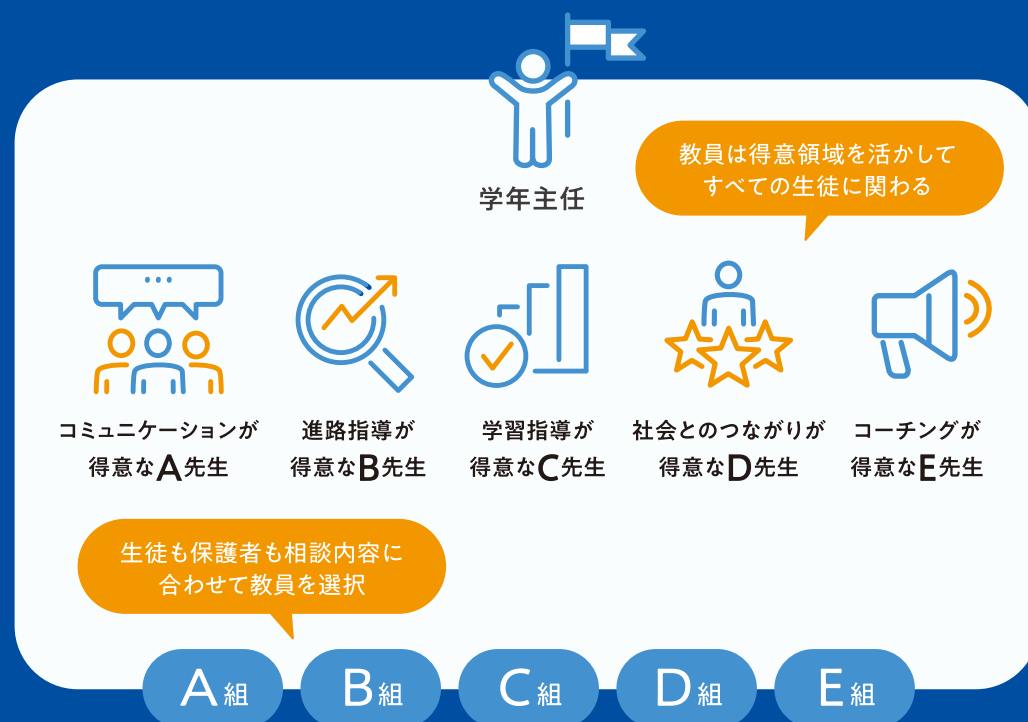
他の科目でも、生徒たちが「学び方」を選び、協働して学ぶ形態を取り入れています。

02

生徒の自律的な 学校生活を支援する

誰もが最初から自律して学べるわけではありません。
大切なのは、うまくいかなかった経験を次の行動につなげていく力。
横浜創英では、中・高すべての生徒を全教員で支える体制を整えています。
安心して失敗できる環境が、挑戦への新たな一歩を後押しします。

チーム担任制（中学）のイメージ



多様な大人との関わり

生徒たちの状況に応じて、チーム医療のように、必要な教員が関わります。
また生徒は、三者面談や個別の相談でも先生を選ぶことができます。
その過程で、問題解決の手段としての「相談する」というスキルを手に入れます。

※高校はクラス担任制ですが、学年全体で生徒たちを支援します。



コミュニケーションアプリ 「ツムギノ」の活用

遅刻・欠席の連絡だけでなく、成績管理なども含めた学校と生徒・保護者が密にコミュニケーションをとることができるデジタル環境を整えています。情報共有を漏れなく、スムーズに行うことを大前提に、情報を活用し生徒に還元できる体制づくりを目指しています。



全ての生徒を 全ての教員で支える

中学1年生から高校3年生まで、全ての学年主任、スクールカウンセラー、管理職が月2回の定期ミーティングを実施しています。学年の枠を超え、生徒一人ひとりを多面的に支援する仕組みです。これは中学校のチーム担任制をさらに発展させたもので、「誰ひとり取り残さない支援」を実現するための取り組みです。



臨床心理学の専門家が 生徒から保護者まで サポート

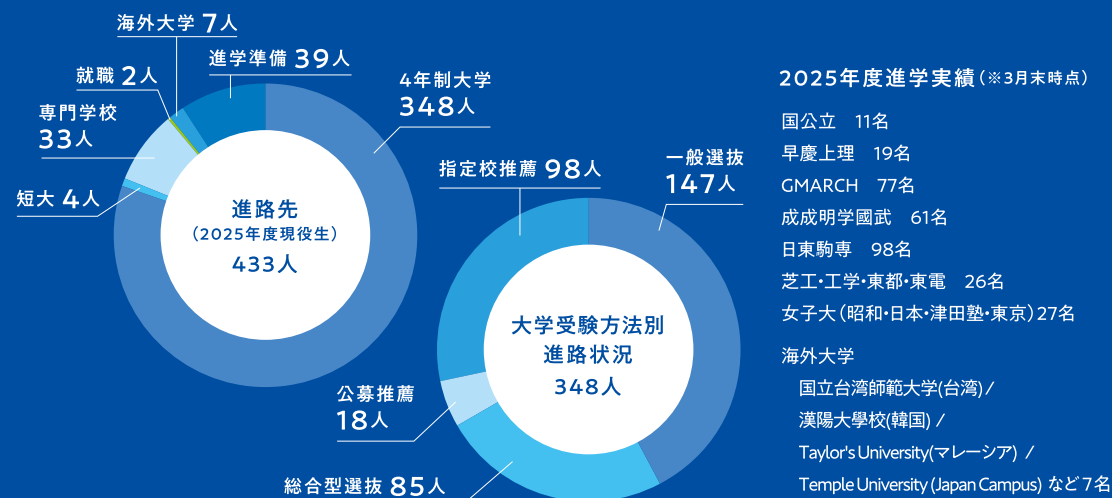
生徒の気持ちを受け止め、感情を整理する支援や保護者の方の、お子さまに関するお悩みについて、一緒に考える場所としてスクールカウンセラーが待機しています。専用のカウンセリングルームでご相談にも応じますので、お気軽にお立ち寄りください。



03

自分で決めるカリキュラム

生徒の夢や希望は十人十色。だから時間割も一人ひとり違っていい。
横浜創英では、自由選択科目を大幅に拡大し、高校1年次後期から選択可能。
将来を見据えた 自分だけのカリキュラム”で進路実現を支援しています。
自ら学びをデザインする力こそ、これからの社会を創る力になると信じて。



卒業生インタビュー

01-interview

慶應義塾大学
文学部
(総合型選抜)
S・Oさん



高2の夏に大学に訪れた際、雰囲気や環境に惹かれ、「ここで学びたい」と思いました。総合型の対策は、一般受験の勉強と並行しました。効果的だったのは、過去問を複数回解き、出題の傾向を理解することです。自信が無いからこそ、量をこなすことを意識しました。また、先生と定期的に面談を行い、学習計画や志望理由書の作成について助言をいただきながら、自分の考えを深めました。一般受験の勉強で培った読解力や思考力が、総合型の入試でも大きく活かされたと感じています。多くの人に支えられながら乗り越えることができた日々は、私の一生の宝物です。

02-interview

早稲田大学
文学部
(一般選抜)
T・Uさん



高1の8月のオープンキャンパスから早稲田大学への進学を強く意識するようになりました。勉強法については、学校の先生のアドバイスやYouTubeも積極的に取り入れました。実際に試してみて効率や理解度を確認し、自分に合うように調整しました。生活面では、起床時間と就寝時間を固定し、生活リズムを崩さないことを徹底したのが良かったです。また、事前に計画を立てることで迷う時間を減らし、集中できる環境を整えました。基本的な学習の流れは変えず、参考書だけを段階に応じて入れ替えることで、無理なく継続することができたと思います。

たとえば、こんな時間割。

選択群I・II・IIIからそれぞれの目標に合わせた教科を選択します。「選択しない」という自由もあり、どのような組み合わせにするかは自分次第です。

高1後期選択群の例

選択群I	選択群II	選択群III
日本史探究 世界史探究 数学II 選択しない	数学A 選択しない	物理基礎 生物基礎 論理表現I

■ ベースとなる時間割

	月	火	水	木	金	土
1	言語文化	芸選E	週①α	言語文化	地理総合	週①α
2	週①α	芸選E	化学基礎	保健	体育1①	英COMII
3	週①α	保健	体育1①	英COMII	週①β	地理総合
4	週①β	英COMII	週①γ	現代の国語	週①yt	
5	週①γ	総合探究	週①γ	週①β	LHR高1	
6	英COMII	現代の国語	週①βt	化学基礎		

「自律の時間」とは自己実現のために自律して学ぶ時間

■ 例1

	月	火	水	木	金	土
1	言語文化	芸選E	週①α 日本史探究	言語文化	地理総合	週①α 日本史探究
2	週①α 日本史探究	芸選E	化学基礎	保健	体育1①	英COMII
3	週①α 日本史探究	保健	体育1①	英COMII	週①β 論理表現I	地理総合
4	週①β 論理表現I	英COMII	週①γ 自律の時間	現代の国語	週①yt 自律の時間	
5	週①γ 自律の時間	総合探究	週①γ 自律の時間	週①β 論理表現I	LHR高1	
6	英COMII	現代の国語	週①βt 論理表現I	化学基礎		

■ 例2

	月	火	水	木	金	土
1	言語文化	芸選E	週①α 数学II	言語文化	地理総合	週①α 数学II
2	週①α 数学II	芸選E	化学基礎	保健	体育1①	英COMII
3	週①α 数学II	保健	体育1①	英COMII	週①β 物理基礎	地理総合
4	週①β 物理基礎	英COMII	週①γ 数学A	現代の国語	週①yt 数学A	
5	週①γ 数学A	総合探究	週①γ 数学A	週①β 物理基礎	LHR高1	
6	英COMII	現代の国語	週①βt 物理基礎	化学基礎		

04

社会とつながる高大連携

学校の可能性を「学校」という枠に、はめてしまってはもったいない。

横浜創英では13の大学と連携し、学びの世界を広げています。

クラスや学年、さらには学校を超えて自分の可能性にまっすぐ向き合える環境。

進学後の単位としても認定されるようになります。

強みを専門的に伸ばす学びが、未来への扉を開いていきます。

自分の強みを活かした、
より専門性の高い学びを実現

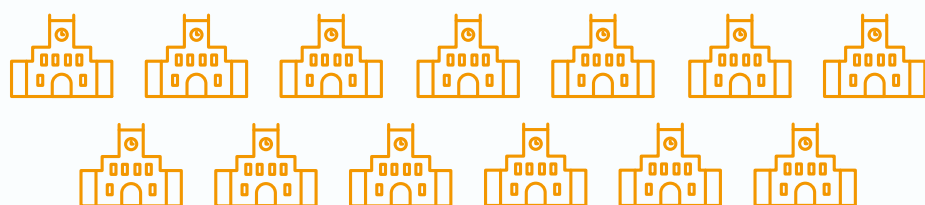
たとえば高校3年生の
自由選択の時間は、
大学の講義への参加も可能。

横浜創英



大学での履修は高校の単位として
認定されます。将来的には、進学後の
単位としても認定されるようになります。

大学



連携大学は
現在

13校

- 筑波大学
- 法政大学
- 産業能率大学
- 麻布大学 生命・環境科学部
- 清泉女子大学 地球市民学部
- フェリス女学院大学
- 実践女子大学
- 城西大学
- 成城大学
- 昭和女子大学
- 東京家政大学
- 城西国際大学
- さとのば大学

生徒インタビュー



K・Uさん 高校2年

産業能率大学のプログラムは、私にとって新しい世界に触れる経験でした。参加する前は大学に堅いイメージを持っていましたが、実際は自分の意見を大切にしながら学べる場所だと感じました。大学生が、年齢はそれほど変わらないのに、自分の意見をしっかり持ち積極的にグループワークに参加している姿にも刺激を受けました。もともと美術分野に興味がありましたが、この経験を通して「その先で何をしたいのか」をより具体的に考えられるようになりました。今は目標を意識しながら、授業や勉強にも前向きに取り組んでいます。



法政大学

社会連携 フィールドワーク

夏期集中フィールドワーク型のプログラムです。都市直下型地震が発生した場合に、どのように行動したらよいのかをマネジメントの視点で学びます。



法政大学

HOSEI GLOBAL CHALLENGERS CAMP 2025

グローバルリーダーシップを学ぶ5日間の講座です。オールイングリッシュで行われ、全国から集まった高校生や大学生から大きな刺激を受けることができます。

フェリス女学院大学

科目等履修生制度

大学で行われている様々な授業を履修することができます。大学での専門知を一足早く先取りし、自分の進路選択に役立てることができます。



さとのば大学

SUMMER SCHOOL 2025

地域を旅する大学が主催する、日常を離れ、地域で文化や自然に触れ、多くの人と語り合うプログラムです。対話を通して変わる新しい自分や未来が見つかります。

産業能率大学

社会を動かすマーケティング

平日に6回、夏期集中で2回行われる講座です。大学生とともに、社会課題解決に向けたアクションプランやマーケティング知識を実践的に学びます。

東京家政大学

家政大 体験月間

栄養学、教育学、演劇学などの特色ある学部で大学生に交ざって受講します。大学での学びは、部活動や進路選択を豊かにします。



横浜創英の探究活動



横浜創英はDXハイスクール(高等学校DX加速化推進事業)に採択されています。
文部科学省が推進する、高校でのデジタル・情報・理数教育を強化し、DX人材を育成するための環境整備支援事業で、探究・問題解決の過程で、3Dプリンターやレーザーカッターなどの機器を活用する環境を整えています。

プロジェクトフェスタ 中高

異なる学年の生徒から外部の大人や専門家まで、訪れるゲストに探究を発表する場がプロジェクトフェスタです。「創造」する力を育てるには表現することが不可欠だからこそ、自分の探究を文章にしたり、絵や図にしたりすることを繰り返しながら、サイエンスリテラシー、クリティカルシンキング、情報リテラシーのスキルを身につけていくことを目指します。

■ テーマ設定

サイエンスコースは中学1年生の後期(1~2月)に自身の探究テーマを設定します。一方、グローバルコースでは設定されたテーマにグループで取り組みます。両コースとも対話を大切にしながら探究のステップを踏んでいきます。



■ データサイエンスの基礎

探究を進めるには、正しいデータの取り扱いが大切です。文献データベースの活用法や統計データの分析・処理法の基礎を習得しながら、データに基づいた科学の重要性を学びます。



■ 異分野コラボレーション

それぞれが持つ異なるテーマ同士を融合させることで、新たな「何か」を創造する活動に取り組みます。一見すると遠回りに見えるアプローチでも、自分にはない新たな発想が、価値の創造につながることも多々あります。



■ コミュニケーション

探究活動の進捗や目標・課題を共有し合うことで、自身をメタ認知します。また、年間で複数行うプレゼンテーションは、その発表形式も多様。伝え方を考えることでサイエンスリテラシーの向上につなげていきます。



「自律・対話・創造」の力を養う総合探究授業 中高

横浜創英の建学の精神は「『考えて行動のできる人』の育成」です。そして、卒業までに3つのコンピテンシー『自律・対話・創造』を養えるように、9つのスキルを身につけられる総合探究の授業を実施しています。

3つのコンピテンシーと9つのスキルについて



中学の探究授業

GOAL 『世界を知り、社会の一員として発信することができる人』

CONTENTS

サイエンス・グローバル両コースとも、中学1年で、社会の一線で活躍するトップランナーによる授業を通して、たくさんのかっこいい大人に出会います。どんな大人になりたいか、どんな学びをしたいかを問いながら、探究活動を進め、プロジェクトフェスタで成果を発表します。

高校の探究授業

GOAL 『自分を律し、他者と協力しながら、より良い世界を創造する人』

CONTENTS

全てのコースで「自分とは何か」「どんな人生を送りたいか」からスタートし、自分の興味関心や強みを大切に探究活動を行います。プロジェクトフェスタでの発表に加え、外部の大会への参加、大学や企業と協働し、社会に貢献する機会を大切にしています。

コースごとの特徴

サイエンスコース

身近な疑問や社会課題に対してテーマを自ら設定し学んでいく「問題発見解決型」の探究学習を行います。仮説、検証の段階で科学的思考や情報リテラシーを重視します。

グローバルコース

設定された課題に対して、解決策を探る、「課題設定解決型」の探究学習を行います。探究の過程で、世界に視野を広げ、多様性を尊重することを重視します。

特進フロンティアコース

高校1年で、探究の学び方を身につけ、高校2年以降で対話を重視しながら解決策を探る「対話創造解決型」の探究学習を行います。未来の社会を創造する視点を重視します。



ミライ探究 企業・大学訪問 中

横浜創英では、大学・企業訪問を通じて、社会で活躍するロールモデルとなる大人と出会い、理想の自分や将来の姿を前向きに考える機会を作っています。自分の将来像をイメージしながら、目的を掲げて「今」自律して行動する指針を持つことが重要です。訪問後は、学んだ内容を資料にまとめ、体験を共有する場を設けます。

2025年度訪問先

教育機関	株式会社横浜銀行 株式会社時事通信ブランドスタジオ 株式会社ファンケル 株式会社エクサ 株式会社COMPASS(キュービナ) タイガーモブ株式会社 株式会社MIXI 株式会社エキュメノポリス Kyndryl株式会社	株式会社プラスワン教育 株式会社島津製作所 株式会社西原ネオ 株式会社フォアクロス 社会福祉法人 恵友会 株式会社日本旅行
企業等	株式会社リクルート ソフトバンク株式会社	



学校は社会とつながっています。だからこそ、ロールモデルとなる大人に出会ったり、多様な価値観の中で物事を考えたりすることは重要なことです。「社会とのつながり」を重視した取り組みを横浜創英は実践しています。

各界の「トップランナー」たちとの連携 中高

#01 植松電機社長 植松 努さん

思うは招く～夢を叶える秘訣～

植松電機でロケット開発も手がける植松さん。「人は足りないからこそ助け合える。足りないことをダメだと思わないでください。」という言葉で、「苦手なもの」のイメージが変わっていきます。「一人だったら、いくら頑張っても一人分。助け合ったら一人ではできなかったことができるようになるよ。」と苦手なものを乗り越える秘訣から、「夢は人に話せば話すほど実現につながるよ。」と将来の夢までつながっていく時間になりました。



#02 大阪市立大空小学校 元校長 木村泰子さん

普通の子なんてどこにもいない

木村さんはドキュメンタリー映画『みんなの学校』の一部を流し、「トラブルを起こしてしまう子は困っている子」ということを教えてくれました。映画に出てきている児童達に自分を重ね、自分も変わりたいと思った様子の生徒たちが、感情的になる自分を直そうと努力したり、それを優しくサポートするようになり、温かい空気が教室に流れるようになりました。

#03 ノンフィクション作家 小松成美さん

人の心を開くコミュニケーション

小松さんは、GReeeeNや浜崎あゆみさん、X JAPANのYOSHIKIさん等の本音を引き出し、本を出版した経験をもとに、人の心を掴むコミュニケーション方法を教えてくださいました。「1, 人はそれぞれ違うという認識をもつ 2, 相手の心は自分の心の鏡 3, 自分が話すのは相手の10分の1で良い 4, 否定語を使わない 5, 相手の興味にアンテナをはる」小松さんの経験に基づいた説得力のある話に生徒たちは引き込まれていきました。



#04 パフォーミングアーティスト サクラ カツミさん

人生を自分で作るマインドを

日本のパフォーミングアーティスト・振付師で国内外での講演活動も行い、世界的に活躍しているサクラさん。学生時代の内向的なマインドから、ポジティブに生きるようになった秘密を紐解いてお話していただきました。人が変わるために必要となる大切なキーワードは、「自分と比べる」「数字に重きを置かない」「熱中する」。その言葉は生徒たちの胸に深く刺さり、自分の未来を見つめ直すきっかけとなりました。

2025年度 講演実績

赤平 大さん(元アナウンサー) 坂本 建一郎さん(時事通信社) 葉一さん(教育 YouTuber)
白川 寧々さん(起業家・教育革命家) 松井 くに子さん(金沢工業大学 教授) 渡辺 克己さん(ナレーター、俳優、声優) など

授業のない2月上旬の チャレンジウィーク 中高

中学入試期間中に行われる「チャレンジウィーク」。生徒一人ひとりが、普段できないことにチャレンジする特別な1週間です。海外スタディツアーへの参加、連携する企業が提供する魅力的なキャリアプログラム、生徒たちが自分たちで企画したツアー、日々の探究活動を深めるなど、忙しい日々ではなかなか取り組めないことにじっくり向き合います。

プログラム提供企業等

Peatix Inc. / Vlag yokohama / Mequ / 株式会社 類設計室 / Temple University (Japan Campus) / パーソルホールディングス株式会社 / キュリー株式会



大口通商店街との 商品開発プロジェクト 中高

地域や社会とつながりながら、課題解決や価値創造に挑戦する企画として、近隣にある大口通商店街の飲食店とコラボし、オリジナルメニューを開発しています。商店街事務所での参加者会議をはじめ、全て生徒が主体となって準備を進めました。試作・試食・調整を繰り返しながら商品開発をするなど、生徒一人ひとりが試行錯誤する過程で、実学的な学びが実現できます。



英語探究発表 高

高校生の選択科目である英語探究では、社会に出た時に役立つ英語力の育成を目指しています。困っている人をHappyにすることを目標とした英語のプレゼンテーションを実施しており、社会で実際に活躍している社会人にアドバイスをしていただきます。旅行会社の方や、発展途上国支援を行っている方、イベントの企画運営をしている方などバラエティ豊かな方々から協力を得ています。



コンピテンシー・ベースの研修

(横浜創英の3つのコンピテンシーと9つのスキルを育てる研修)

多様な価値観があふれ、答えのない時代と呼ばれる現代、そしてこれからの社会。求められるのは、ひとつの正解に向かって突き進むのではなく、新しい答えを導き出す力です。横浜創英では、対話によってお互いの共通目的に向けて合意し、トラブルを乗り越えていく力を身につけるためのプログラム「4C・コラボレーション」を実施します。



4Cスキル研修 中

4Cスキル研修では、目の前の課題や失敗をどのように乗り越えていくかを考え、ディスカッションし、課題を可能性と捉える思考法を身につけていくと同時に、様々な対話スキルを学んでいきます。他者との対話、意見の食い違いも糧にしながら、生き抜くことができる力を身につけます。

PICK UP

4Cとは？



- Communicationコミュニケーション(対話)
 - Collaborationコラボレーション(協力)
 - Critical thinkingクリティカルシンキング(分析的思考)
 - Creativityクリエイティビティ(創造)
- の4つのスキルを身につけていきます。

トライ&エラー



マンドラートやマインドマップ、ブレインストーミングなどの手法を学び、チームで合意形成を行っていきます。チームに一人ずつファシリテーターとして大学生が付き、サポートを受けながら進みます。

ミッション



研修中は変革を起こす“イノベーター”として活動します。2025年度は「学びがワクワクと100倍楽しくなるプロジェクトを提案せよ!」というミッションに取り組み、学びと遊びについて往還しながら、最終日にプレゼンテーションしました。

デジタルデトックス



デジタル化が進んだこの時代に、あえてデジタルを使わずに人と人同士の対話で真剣に向き合う3日間。人と話すことは時間もかかるし、分かり合えないこともある。この研修は自分自身がどうありたいか?トコト考える機会にもなりました。

4Cスキル授業(合科探究型授業) 高

40名を超える教員が繰り出す、20を超えるミッション。1週間かけ、それぞれ与えられたミッションに挑み、最終日にプレゼンテーションを行います。外部ゲストの大人の力も借りながら、ひとつの教科の偏った知識だけでは解決できない難問に取り組み、新しい発想を生み出します。

PICK UP

英語×音楽×社会 深掘り! ウェストサイドストーリー!



映画「WEST SIDE STORY」のセリフや曲を日本語訳し表現する授業です。世界史の視点でアメリカ移民の歴史を学び、英語の視点で背景が伝わる訳し方を考えます。音楽の視点から適切な表現法を考え、最後に班ごとに発表しました。

理科×社会 三味線づくりを通して歴史・科学を学ぶ



三味線の起源や江戸の都市文化を社会科の視点で学び、音の正体や響きの仕組みを理科で探究しました。第一線で活躍する三味線奏者による特別講義も実施し、制作したカンカラ三味線で合奏する実践型講座を行いました。

英語×保健体育 日本のアスリートの言葉を世界に届けよう!



アスリートの発する言葉の意味や背景を探究します。オリンピックなど国際大会で通訳経験をもつスポーツ通訳者を講師に迎え、日本人選手の実際のインタビューをもとに、試合状況や選手の立場、感情について考察しました。

国語×数学 人の心を動かす広告を作ろう!



実際の報道やCM動画の例をもとに、人の心に残る数字と言葉の使い方について学び、クリティカルシンキングと表現力を身につけます。そして、様々なターゲット層に向けた横浜創英の広告動画を班ごとに作成しました。

企画型研修旅行・選択型旅行 中高

「行きたい場所」で、もっとワクワクする経験を。青春時代の大切な思い出を自身の手でつくるため、生徒がプランづくりから関わる研修旅行。その準備さえも「学びの場」として楽しめるのが横浜創英です。



PICK UP

旅行代理店との折衝 中高

各コースの旅行委員が、旅行代理店に直接交渉して当日の計画を立てます。SNSツールを使って、積極的に連絡を取ります。他の生徒の要望を最大限に実現させるために、責任を持って取り組みます。



中学3年研修旅行 中

生徒が旅行会社と直接連絡を取り合って旅行の企画をします。約1年間の準備期間を経て、2025年度は関西コースと広島・四国コースに分かれるプランになりました。



6か所に分かれる研修旅行 高

高校2年の研修旅行は、国内複数箇所にまたがります。2025年は北海道・北陸・九州などに分かれました。5月にコース希望調査を行い、6月から半年間かけて準備をします。「自分で決める」という、当事者意識を持って参加します。



アントレプレナーシップ国際ブートキャンプ inマレーシア 中高

マレーシアで開催されたMIT連携の国際アントレプレナーシップ・ブートキャンプ。世界各国の同世代と英語で協働し、社会課題の発見から解決策の提案までに挑戦。多様な価値観に触れながら、主体性と発信力を育む貴重な1週間となりました。



STUDENT's VOICE

一人ひとりの「得意」を活かして創り上げた平和と発見の長崎研修旅行。

研修旅行では旅行委員として企画に関わりました。長崎原爆資料館での平和学習では、皆が静かに真剣に話を聞く姿が印象に残っています。私は事前に内容を整理して指示を出すなど準備を重ね、企画を円滑に進めました。資料作成やパソコン作業が苦手な人を手伝う中で、役割を分担し協力することの大切さを実感しました。



高校3年 R・Tさん

Produced by Students

生徒がつくる学校行事

横浜創英の学校行事は、すべて生徒主体。なぜやるのか、どうするのか。目的も手段も、生徒が自ら考えながら対話と協働で、それぞれの思い出をつくり上げます。



イベントスケジュール 〈2026年度予定〉

4月	入学式 / フレッシュマンキャンプ(高1) / フレッシュマンjr. キャンプ(中1) / 球技大会(高2・3) / 模擬試験 / 保護者会(中2・3、高2・3)
5月	保護者会(中1、高1)
6月	二者・三者面談
7月	体育祭 / 生徒総会 / 模擬試験
8月	夏期講座
9月	前期期末試験 / 4Cスキル研修(中2) / 模擬試験
10月	創英祭 / 保護者会(中3、高1、高2) / 二者面談週間
11月	企業大学訪問(中1) / 模擬試験 / 保護者会(中1・中2)
12月	研修旅行(中3、高2) / 冬期講座 / 学年合同対話授業(中1～高2)
1月	共通テストプレテスト(高3) / 模擬試験 / 4Cスキル授業(高1・高2)
2月	チャレンジウィーク / 卒業記念講演(高3) / 学年行事(高1・高2)
3月	プロジェクトフェスタ / 卒業式 / 春期講座 / 後期期末試験

※変更する可能性があります。

PICK UP

創英祭



中学・高校ともに多くの保護者の方、一般のお客様にご来校いただき大変活気があります。様々な団体が、個性あふれる展示や演技を披露します。

体育祭



体育祭も、生徒が主体となって企画・運営します。生徒会や実行委員の生徒たちを中心に、競技の内容からルールまで決めます。中学・高校全体で、大いに盛り上がります。

STUDENT's VOICE

仲間と行事を創る楽しさを実感できた、忘れられない経験です。

学年代表として関わったレクリエーションでは、企画から当日の運営まで自分たちで担当しました。最初はどう進めればよいのかわからないことも多く、難しくてたくさん悩みましたが、一つずつ形になっていきました。当日は、みんなが楽しそうに参加してくれて、会場が笑顔であふれている様子を見たとき、とても嬉しく誇らしい気持ちになりました。



中学3年 M・Uさん

Produced by Students

生徒が主役の部活動

誰に強制されるでもなく、自ら選び、参加するのが部活動。競技の成績や結果はもちろん、どんな姿勢で取り組むかも大切です。



中・高体育部

- 卓球部 ●バスケットボール部 ●ソフトテニス部
- ダンス部 ●ワンダーフォーゲル部 ●バドミントン部
- ハンドボール部 ●剣道部 ●バレーボール部(女子)
- サッカー部(男子)
- バトン部 [Power's CanCan] (中学)
- バトン部 [BRIGHTS] (高校)

※各部活動についてはホームページにてご確認ください。

中・高文化部

- 文芸部 ●園芸部 ●ESS部 ●イラスト部
- 造形アート部 ●調理部 ●合唱部
- 児童文化部 ●吹奏楽部 ●書道部
- 放送部 ●競技かるた部 ●茶道部
- フォトアート部 ●将棋部 ●科学部
- 軽音楽部 ●パソコン部

中学部活動
について



高校部活動
について



生徒が決める生徒会・委員会活動

生徒がやることは生徒が決める。「やってみたい」を、「どうしたらできるだろう」と自主的な対話を通して、実現に向かいます。

生徒会

2025年度は、高校2年生4名、高校1年生5名、中学3年生1名、中学2年生4名、中学1年生3名の、計17名で活動しました。各種学校行事はもちろんのこと、横浜創英では入学式・卒業式などの式典までも生徒会が中心となって企画しています。行事の実行委員の生徒や部活動の生徒とも連携しながら、大きな行事の運営を達成できた時はとてもやりがいがあり、「学校を自分たちで作っている」という実感があります。横浜創英の生徒会で、一緒にオリジナルの青春を作りましょう！

委員会

現在は、以下のような委員会があります。どの委員会も日々の業務や行事の係などに対して責任を持って取り組みます。学校生活の円滑な運営のために欠かせない活動です。

学級委員会

保健委員会

選挙管理委員会

生活委員会

図書委員会

福祉委員会

美化委員会

新聞委員会

実行委員会

体育委員・創英祭実行委員は、クラスごとではなく学年の枠を超えて募集し、それぞれ年に一度の体育祭、創英祭の企画・運営に携わります。行事後はしっかりと振り返りをし、次年度に向けて前年度から準備を進めることで年を追うごとに進化しています。また、学年独自の行事を開催する時も、実行委員を募集して運営します。「こんな行事にしたい！」が叶うのが横浜創英です。

体育委員会

創英祭実行委員会

STUDENT's VOICE

仲間を信じて仕事を任せることの 大切さにも気づきました。

学年行事では、様々な立場の人と対話しながら行事を作り上げることを大切にしました。みんなが納得して進めていくことが重要だと考え、先生方とも積極的に話し合いを重ねました。意見が合わない場面もありましたが、「どうすれば全員が納得できるか」を考え続け、合意点を見つながら進めていきました。対話を重ねながら協力して行事を作り上げた時間は、自分自身の成長を実感できた大切な経験です。



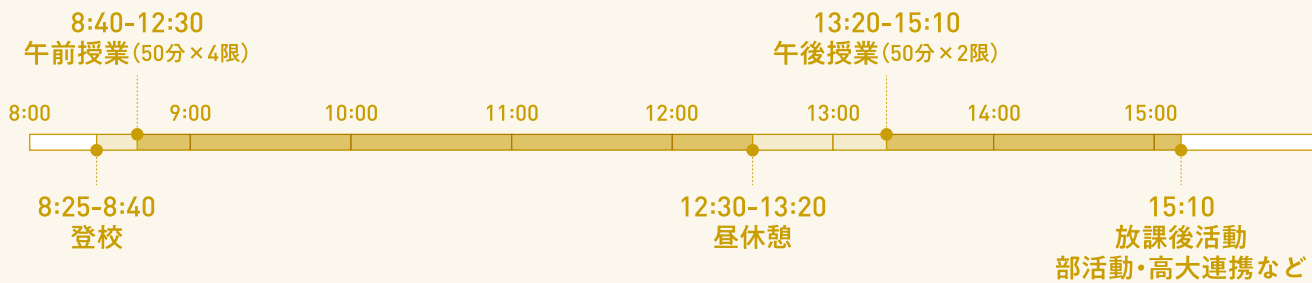
高校3年 T・Aさん



自分らしく工夫できる制服

グレーを基調としたスラックス・スカートと紺色のブレザーを基本に、白・青・緑・ピンク(中学のみ)のシャツと、紺と白のベスト・セーターを組み合わせ、自分らしい着こなしを楽しむことができます。女子用スラックスもあり、また、夏には男女兼用の紺色のポロシャツで涼しく過ごせます。

日々の小さな選択が、積み上がり 未来の自分につながっていく



01 Student's Voice 在校生の声



R・Nさん 中学2年

放送部と創英祭実行委員として、創英祭や体育祭の運営に関わりました。放送部では映像撮影や照明を担当し、文化祭ではクラスの出し物をより良くするための話し合いにも積極的に参加しました。機材をうまく扱えず悔しい思いをすることもありましたが、練習を重ねて本番を迎えました。撮影では「視聴者が何を見たいか」を意識し、照明ではパフォーマンスがより魅力的に見える工夫を重ねました。仲間と意見を出し合いながら行事を作り上げた時間は、主体的に挑戦する力や協力する大切さを実感できた忘れられない経験です。

02 Student's Voice 在校生の声



S・Hさん 高校2年

横浜創英では、自由な校風の中で「自分で考えて行動すること」を大切にしてきました。校則や行事もただ決められた通りに動くのではなく、「本当にそれで良いのか」と自分で考え判断する姿勢が求められます。後期からの選択科目では、自分の進みたい進路を意識しながら科目を選び、空き時間もテスト勉強や提出物の準備に活用してきました。こうした経験を通して、将来の進路を早くから考え、目標に向けて行動する力が身につき、自由な学びの中で、自分で未来を切り拓く力が育ったと感じます。

育てたいのは「自分の人生を自分でデザインする力」。その土台になるのは、日々の小さな選択です。

授業の合間の休み時間、空き時間、そして放課後――

何をするかを自分で決め、実際に行動してみる。

その積み重ねが、少しずつ未来の自分を形づくっていきます。

横浜創英では、「自分で選択し、行動する」一日を通して、「なりたい自分」へ近づく習慣を育てます。

01 OB's Voice 卒業生の声



日本大学芸術学部・映画学科・監督コース 1年 25年度卒業
K・Sさん

高校生のうちに映画を一本作り、映画甲子園に出したい。その思いを本気で追いかけたのは、横浜創英の自由な環境があったから。取材のために学校を休むことも「ぜひ行ってきなさい」と先生が背中を押してくれました。学校内外で多くの大人と関わる中で、自分の立場を客観的に考える視点も身につきました。横浜創英に入学しなければ、こんなに自由に作品制作をすることもなかっただろうと思います。次の舞台は日本大学芸術学部映画学科。将来は世界で活躍する映画監督になり、オスカーを獲得したいです。

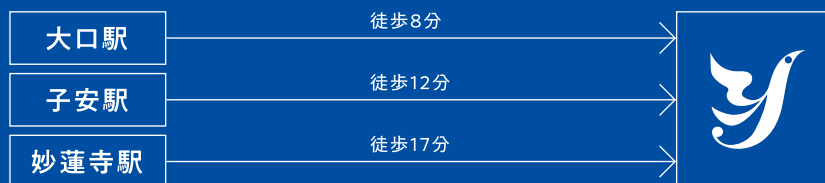
02 OG's Voice 卒業生の声



東京理科大学 先進工学部 物理工学科 1年 25年度卒業
A・Iさん

横浜創英は、私が未来に向かって主体的に動き出すための土台をつくってくれた場所だと思います。先生方が親身に支えてくださる環境の中で安心して挑戦することができ、部活動や行事では自分で考え行動する経験を積むことができました。特に、吹奏楽部で演出係に挑戦し、一つの舞台を作り上げた経験は、仲間と協力することの大切さを教えてくれました。現在は高温超伝導の研究に関心を持っています。将来は超伝導技術の研究を通してエネルギー損失を減らし、持続可能な社会に貢献できる研究者になることが目標です。

ACCESS



大船駅〔JR東海道本線16分〕→横浜駅〔JR横浜線6分〕→大口駅
大和駅〔相鉄本線急行21分〕→横浜駅〔JR横浜線6分〕→大口駅
川崎駅〔JR京浜東北線12分〕→東神奈川駅〔JR横浜線3分〕→大口駅
町田駅〔JR横浜線26分〕→大口駅
上大岡駅〔京浜急行本線21分〕→子安駅
武蔵小杉駅〔東急東横線13分〕→妙蓮寺駅

EVENT

学校説明会の詳細・ご予約方法、
その他のイベントについては、
本校ホームページをご覧ください。



本校のホームページ上で、
詳しい募集要項を公開しています。

中学



高校



本校のホームページ上で、
「校長発信」を公開しています。

校長 Message



校長 Information



横浜創英中学・高等学校

〒221-0004
横浜市神奈川区西大口28番地
TEL:045-421-3121
<https://www.soei.ed.jp/>

